

港まちづくり協議会ニュース

第2号（発行日 平成18年9月20日）

港まちづくり協議会とはポートピア名古屋設置に伴う「環境整備協力金」を用いたまちづくり事業を住民と行政との協働により検討している組織です。協議会のことを知っていただくため「港まちづくり協議会ニュース」を発行するほか、コミュニティセンターに会議資料を設置し、どなたでも閲覧できるようにしています。

9月6日に開催された第2回会議の概要

< 議題 >

- 1 第1回協議会の会議結果報告
- 2 来年度実施事業の検討
- 3 その他

主な議事

港まちづくり協議会ニュースについて

- ・組回覧は見えていないという苦情が多いので各戸配布してはどうか。
- ・早めの情報提供が望ましいので、編集を会長と事務局に一任する。

活動拠点について

- ・拠点は非常に大事。空調や内装の費用もかかるので十分予算が必要だ。
- ・活動拠点を有効活用していかななくてはならない。

地域パトロールについて

- ・オレンジネットはすでにパトロールを行っている。当面无償だが無償では長続きしないので、有償化していく。妥当な金額を決めていきたい。
- ・学童の安全に不安があったがポートピアが責任を持つということで許可した。ポートピア・NPO・PTAが同じ目的のため3つだぶるのはおかし。範囲、人数を申し合わせてやればよい。
- ・オレンジネットは常時巡回しているが、PTAは下校時の1時間のみ。重ってもよい。
- ・協定書の部分、ボランティアで行う部分、環境整備協力金でやっていく部分を仕分けしてほしい。

江川線の植栽・イルミネーションについて

- ・植栽は街路樹愛護会が世話している。小学校4～6年生と一緒に校外事業として補植を行っている。子どもたちをどう巻き込んでいくか、土木の仕事との仕分けをどうするかが課題である。

- ・帆船のモニュメントが老朽化している。今なら LED 等を使えばきれいなものができる。単なる修復ではなく付加価値をつけてリニューアルしてはどうか。地元の意見を吸収して名古屋港開港 100 周年を記念するモニュメントにできればよい。
- ・イルミネーションはぜひ取り組みたい。築地口から名古屋港に向かって樹木にイルミネーションを行ったり、ビルの間をつないだり、サンタをいくつか乗せたり、住宅にイルミネーションをつけるのもいい。イルミネーションをイベント的に行うのもよい。

まちおこしについて

- ・地域が不退転の決意で、自分たちで考えてやらないとだめなのではないか。
- ・自治体がお金をつぎ込んでも地域が盛り上がらないとムダ金になる。地域のアイデア出してもらって、特定の人だけがやるのではなく、地域のみなさんの共通認識を持ってもらいたい。
- ・地域全体でまちづくりを行ういい機会だ。ポートピアについては賛否両論があったので、一人でも多くの人に声をかけて賛同してもらいたい。意見を集約していきたい。

まちおこしイベントについて

- ・この地域はいろいろな市民活動がさかんである。それらの団体がやりたいと考えている事業に環境整備協力金は使えるか。
- ・提案公募型ということならば可能である。年度内に実施できればいい。
- ・特定の人が使うのではなく地域の人々の合意の上でお金を使う必要がある。
- ・提案公募を行えば事業が協議会の独断で行われているのではないということが明らかになり意味がある。

環境整備協力金の積み立てについて

- ・環境整備協力金は単年度使い切りで、積み立てはない。
- ・調査・研究の中で年度計画を立てればよい。
- ・協議会は基金を持ってない。残った部分は市に返さなくてはいけない。

予算要求にむけて

- ・10月末までに地域パトロールの計画を示してもらいたい。また植栽・イルミネーションの具体的なイメージを出してほしい。

< 港まちづくり協議会に関するお問い合わせ先 >

港まちづくり協議会事務局（港区役所区民生活部内）

電話 052-654-9688 FAX 052-651-6179

Eメール a6549621@minato.city.nagoya.lg.jp

港まちづくり協議会の情報はインターネットでも見ることができます。

URL <http://www.minato.city.nagoya.jp/oshirase/Boat.htm>

